

2024年度（第14事業年度）

事業報告及び附属明細書

自 2024年 4月 1日

至 2025年 3月31日

公益財団法人 日本女性学習財団

I. 公益目的事業

生涯学習の振興及び活性化支援事業

2024年度は、本財団の目的である「男女共同参画社会の形成に資する生涯学習及び次世代育成の振興に寄与する」事業の円滑なる進展を図ることを目的に、月刊誌でのジェンダー視点からの情報提供、SNSを活用した広報活動、関係機関・団体との協力連携を通し、当面する諸課題について各学習事業、管理運営、その他の事務を遂行した。

1. 研究調査

(1) 女性の教育・学習活動史研究

趣旨：「出発・再出発」をテーマに、男女共同参画社会、多様な人々が生きやすい社会の実現に向けて、次への一步を踏みだしたい／踏みだした人（踏みだす人を支援する人・グループも可）の思いや過程などをまとめたレポートを募集し、「日本女性学習財団 未来大賞」として優秀作品を表彰する。

選考委員：犬塚協太（理事）、中村香（評議員）、野村浩子（選考委員長）、藤井俊一

内容：①第8回未来大賞応募レポート数 27篇（8月31日締切）

②選考委員会（オンライン開催）

日時：12月3日（火） 応募レポート27篇の中から大賞1篇を選考

*大賞：佐藤有理「『産まなければならない』呪縛への道のりと解放
—次世代の女性たちへのメッセージ—」

③贈呈式（ハイブリッド開催）

日時：1月25日（土） *月刊『We learn』2025年3月号に全文掲載

(2) 防災・減災に関する研究調査

趣旨：防災・減災を進めるためのジェンダー視点からの課題について、実践者や研究者の立場からのレポートを月刊誌で掲載、ホームページでも発信する。

内容：①防災の視点から、キャリア支援デザイナーブラッシュアップ講座を実施。

日時：6月20日（木）19:00-20:30

テーマ：「能登半島地震 被災地の現状から考える 防災・減災と女性の心身の健康」

登壇者：小山内世喜子（第5期）、松尾規子（第3期）

実施方法：オンライン（Zoom）

参加者：46人（申込60人）

②『We learn』2024年9月号にて「災害—多様な人びとのウェルネスを守る」を特集テーマとし、防災・減災の視点を入れたレポートを組み込み発信した。

③ホームページ「防災・減災とジェンダー」を更新、②掲載の特集号を紹介した。

2. 人財育成事業

(1) キャリア人財プラットフォーム事業

趣旨：女性のエンパワーメントをめざし、生涯にわたるキャリアデザインをジェンダーの視点で支援する「キャリア支援デザイナー」を養成する講座を開催するほか、女性の生涯にわたるキャリア形成のための人と社会をつなぐ場である「キャリア人財プラットフォーム」の資源を生かし、学び合う場を創出していく。

内容：

- ① (公財)日本女性学習財団キャリア支援デザイナー 第12期養成講座
日時：12月1日(日) 10:00-15:00
講師：大槻奈巳(理事)、野村浩子
受講者：17人
実施方法：オンライン (Zoom)
*登録証授与式は2月15日(土)にハイブリッドで開催した。
- ② (公財)日本女性学習財団キャリア支援デザイナー 第10期更新講座
日時：7月28日(日) 10:00-15:30
講師：犬塚典子(第3期)、野村浩子
実施方法：オンライン (Zoom)
*10期登録者11人中6人が更新、終了者5人
*1~12期登録デザイナー95人(2025年3月31日時点)
- ③ デザイナーブラッシュアップ講座
*1(2) 防災・減災に関する研究調査にて掲載
- ④ デザイナー企画協働事業
第1回応募企画2件、採択2件(うち、延期1件)
第2回応募企画0件、ただし、上半期応募事業の延期分をキャリア支援デザイナーフォーラムとして発展させて実施。
 1. 日時：5月25日(土)
テーマ：「自分らしく輝く働き方・生き方
～3人の女性のキャリアストーリーから考える～」
企画・講師：垣内啓江(第2期)
講師：長野智子、小田多恵子
実施方法：ハイブリッド
→応募人数が定員に満たなかったため、協働先の意向により延期とした。
 2. 日時：8月24日(土)
テーマ：転機・危機を支えるキャリアコンサルタントとして活躍しよう
～世界的潮流「社会正義」から、強みと自信と未来をみつける
企画・講師：佐藤美礼(第4期)
実施方法：オンライン (Zoom)
参加者：35人
- ⑤ 講師派遣事業(年度1回募集)
応募企画1件、採択1件(25年5月17日実施)
- ⑥ デザイナーズ・ラボ
趣旨：22年度から実施。学び合うコミュニティとして、キャリア支援デザイナー同士の学び、交流の場を提供し、コミュニティの活性化を推進する。現在は、

キャリア・ヒストリーを聴くことをベースにラボを実施している。

1. 第9回 7月18日(木) 19:30-20:30 参加数10人
2. 第10回 10月17日(木) 19:30-20:30 参加数11人
3. 第11回 1月16日(木) 19:30-20:30 参加数8人

⑦ 2024年度キャリア支援デザイナーフォーラム

趣旨:「キャリア人財プラットフォーム」の「学びあうコミュニティ」をめざして、ネットワークを強化することを目的に実施。

日時:3月9日(日)

内容:

第1部:パネルディスカッション「セカンド/サードキャリアを切り拓くーキャリアの壁を越えるヒントを探る」

○パネリスト:長野智子さん、小田多恵子さん、鎌田由美子さん

○コーディネーター:垣内啓江さん

第2部:第23回ぶっく・とーく「この30年、私たちは働きやすくなったのか?ー延べ4,000人超の追跡調査結果『日本女性のライフコース』著者に聞く」

○お話:樋口美雄さん

○聞き手:野村浩子

第3部:交流会

実施方法:ハイブリッド(会場&オンライン)

*会場は関係者限定、見逃し配信あり

参加者:42人[オンライン32人、会場10人](申込人数83人)

(2) 男女共同参画の視点に立つ女性のキャリア形成支援者に関する研究

趣旨:キャリア支援デザイナー自身の支援経験や知をアンケートやヒアリング等で可視化し、地域における男女共同参画の推進にも資する女性のキャリア形成支援者向けプログラムを開発していく。

内容:キャリア支援デザイナーに対するアンケート結果をもとに、25年度のキャリア支援デザイナーにかかわる事業を検討。キャリア支援デザイナーに応募した理由の「ジェンダー平等推進・男女共同参画推進に携わりたいため」等の思いを活かせる講座や教材開発を検討している。

(3) 子育て支援者育成・次世代育成講座

趣旨:子育て支援、次世代育成に携わる人を対象に、ジェンダー視点をもった支援を軸とした支援者向け講座を開催する。

日時:2月20日(木)

テーマ:「地方女子の大学進学」「壁」とはなにかー子どもや若者の可能性を広げるために、支援者としてできること」

講師:寺町晋哉、三田空来

実施方法:オンライン(Zoom) *見逃し配信あり

参加者:19人(申込人数26人)

3. 情報提供

(1) 月刊『We learn』発行

趣旨：ジェンダー平等や女性のエンパワーメントに向けた情報提供に努め、キャリア支援デザイナーをはじめ、他事業との関連も鑑みながら情報発信を進めた。

- ① 総発行部数 11,000 部 (1,000 部/月、年 11 回発行)
- ② 販売総部数 4,433 部 (前年 4,334 部)、贈呈・交換総部数 3,344 部 (前年 3,289 部)
WL 単品販売計 323 部 (前年 227 部)、323 部のうち、紙冊子 105 冊、PDF218 冊
24 年度新規購読 25 件、中止 23 件 (前年新規購読 22 件、中止 24 件)
- ③ 特集テーマ

4 月号	女性史 — 足跡から学び、踏み出す
5 月号	外国人住民の人権保障と共生
6 月号	政治変革とジェンダー
7 月号	ジェンダー “経済” 平等へ
8 月号	スポーツ界に潜むジェンダー規範
9 月号	災害 — 多様な人びとのウェルネスを守る
10 月号	フェミニズム、シスターフッドの現在地
11・12 月	性暴力 — 子どもの権利が守られる社会とは
1 月号	憲法 24 条と今を生きる私たち
2 月号	生成 AI は敵か味方か — 科学技術とジェンダー
3 月号	出発・再出発 — 声を届けて未来につなぐ

(2) パネル等普及啓発資料の作成・普及

趣旨：イラストを通して男女共同参画にまつわるさまざまな問題を提示する「なるほどジェンダー」パネル、「発見！ジェンダー」パネルを貸出・販売する。また、パネル貸出増のための普及活動に取り組み財団の認知度向上を図る。

① パネルの貸出・販売

・販売件数 1 件

長崎県男女共同参画推進センター なるほどジェンダーパネル 19 枚

・貸出件数：24 件 (前年 16 件)

「発見！ジェンダー」 貸出先 6 件 (前年 5 件)	長浜市パートナーシップ推進協議会、沖縄県嘉手納町、 山口県下関市人権・男女共同参画課、千葉県鎌ケ谷市、 愛媛県愛南町、千葉商科大学
「なるほどジェンダー」 貸出先 18 件 (前年 11 件)	(公財) 広島県男女共同参画財団、東京都中野区、のべ おか男女共同参画会議 21、綾部市あいセンター運営委 員会、広島県東広島市、山形県しあわせ子育て応援部、 (特非) エフ・コレクティブ、山口県下関市、福岡市男 女共同参画推進センター・アミカス、(公財) 広島県男 女共同参画財団、東広島市、(公財) えひめ女性財団、 綾部市、(公財) 広島県男女共同参画財団、福井県鯖江 市、東京ウィメンズプラザ、桐木陽子様 (松山東雲短期 大学)、奈良市

② パネルの普及活動

< 1 > 令和6年度東京ウィメンズプラザフォーラム ワークショップ参加

日時：11月9日（土）

テーマ：「～知る・気づく・考える～『発見！ジェンダー』パネル展」2024

実施方法：会場展示

参加者：68人

< 2 > 「発見！ジェンダー」リーフレット

趣旨：学習教材「発見！ジェンダー」パネルのイラストを利用した教材として、データ版は無料で、冊子版は1部50円で提供。

内容：データ版提供：33件、冊子版販売：93部

（3）資料の整備・情報公開

① ホームページの充実

当財団の事業については、適宜、事業案内・報告を財団ホームページに掲載し、その内容を公開する。また、フェイスブックやInstagram、X等のSNSを用いて、タイムリーな情報提供に努める。

② Space We learn の活用

リニューアルしたフロアを活用し、「芝公園ラボ」や「ぶっく・とーく」の開催等、本や人を資源とした対話・学び合いの場を創出する。

< 1 > 第23回「ぶっく・とーく」＊キャリア支援デザイナーフォーラム2024開催

＊2（1）②キャリア支援デザイナーフォーラム2024にて掲載

< 2 > 芝公園ラボ

① 芝公園ラボ Vol.2

日時：5月15日（金）18：30～20：00

テーマ：『「ひと言」が背中をそっと支える～出会いと学びをめぐって～』

—「第7回 日本女性学習財団 未来大賞」受賞レポートを通して考える
女性のエンパワーメント

参加者：14人

講師：長安めぐみ（第7回未来大賞受賞者）

実施方法：対面開催

② 芝公園ラボ Vol.3 「ジェンダー平等社会になる前に心が折れてしまいそうなあなたへー世代をこえて、経験をわけ合い、つながる時間ー」

日時：2024年10月5日（土）11：00～12：30

講師：福田和子

方法：対面開催（会場：財団カンファレンスルーム）

人数：26人

③ 芝公園ラボ Vol.4 「この星をウチらの星にするために —ヤングケアラーを生み出す社会に矢を放つ— ケアとパンプスとアタシ」

日時：2025 年 2 月 15 日（土）10:00～11:30
講師：かにゃんこ、内藤和美（理事）
方法：ハイブリッド開催（財団カンファレンスルーム&Zoom）
人数：18 人

< 3 > 作品展

内容：当財団フロアの活用の一つとして、ジェンダーや男女共同参画について展示を通して発信する場を企画。

- ① 名称：「背中をそっと支える『ひと言』展」～未来を創るあなたへ～
期間：5 月 15 日～8 月 23 日
- ② 名称：「第 3 回『写真とことば』ジェンダーデザイン・コンテスト 入賞作品展」
期間：10 月 20 日～3 月末まで

< 4 >（公財）日本女性学習財団 Office We learn&人財プラットフォーム交流会

内容：Office We Learn（OWL）は 2014 年に開設し、2024 年で 10 年を迎えた。OWL 会員内のネットワーク形成を企図するとともに、財団における人財プラットフォームも同様の年月を積み重ねてきたことから、その交流の機会として実施した。

日時：11 月 29 日（金）19:00～20:30
場所：日本女子会館 Space We learn
参加者：29 人

4. 関係諸団体との連携支援

女子会館内団体との情報交換を行った他、国際婦人年連絡会・全国女性会館協議会・社会教育団体振興協議会、男女共同参画と災害・復興ネットワーク等に加え・連携して、全国的・国際的な活動に参画・参加するとともに、全国各地からの要望に応じて連携・支援を行った。

（1）日本女子会館内外団体との連携

- ① 関連団体の会議への参加
 - a. 国際婦人年連絡会：総会・全体会（5 月 29 日）
 - b. NPO 法人全国女性会館協議会：総会（6 月 7 日）
 - c. 東京ウィメンズプラザ館長会議（2 月 20 日）（学習事業課長）
- ② 団体、自治体、大学への職員等派遣
 - a. 清瀬市男女平等推進委員会委員（学習事業課課長補佐）
 - b. 5 月 23 日江東区「第 32 期パルカレッジ第 2 回」（学習事業課長）
 - c. 5 月 30 日流山市「わたしへのごほうび講座 2024 第 2 回」
（学習事業課長、課長補佐）
 - d. 6 月 20 日国立市公民館「女性の生き方を考える講座 第 5 回」（学習事業課長）
 - e. 6 月 21 日ベアテ・シロタ・ゴードン NWECA アーカイブ資料受贈記念研究会共催
野村理事長登壇

- f. 7月26日 えひめ女性財団「令和6年度エンパワーメントカレッジ」(理事長)
- g. 9月24日 山形県事業「多様性が尊重される社会づくり推進セミナー」(理事長)
- h. 2月21日 葛飾区子育てひろば いろは 相談事業 少人数の集い
「きょうだいを育てる」ゲスト講師(学習事業課長)

③共催・協力・後援

- a. 東洋大学学生 社会教育実習受入れ2名 8月21日～28日(30時間)
- b. 東洋大学リカレント教育推進特別助成プロジェクト(～2026年度)協力
- c. JWLI(フィッシュ・ファミリー財団主催 Japanese Women's Leadership Initiative)
「チャンピオン・オブ・チェンジ日本大賞2024」広報協力
- d. JWLI メンター協力
- e. 10月24～26日 ふらの女性サミット2024 後援 10月24～26日
- f. 認定NPO 法人国連ウィメン日本協会主催、日本女性学習財団共催
 - ・10月6日「国連 国際ガールズデーオンラインチャリティイベント 紛争下における南スーダンの少女たちの状況」
 - ・12月7日「女性に対する暴力撤廃国際デーオンライン・セミナー ガザにおける女性や少女に対する暴力について」
- g. 1月12日・13日 女性のエンパワメントで高める地域の防災力リーダー育成実行団体ネットワーク ジャパン女性防災リーダーサミット2025 後援・当日挨拶(理事長)
- h. 2月18日 国立女性教育会館主催、日本女性学習財団共催
令和6年度「知ろう！話そう！ジェンダー研究！NVEC ウィンターカフェ」登壇(学習事業課長)

(2) 生涯学習等公益事業を行う非営利団体に活動拠点を提供し支援する事業

生涯学習や男女共同参画社会の発展のため活動している団体支援事業として日本女子会館の施設を低料金で賃貸している。

2024年度末時点での日本女子会館の公益目的賃貸に供している対象団体と面積は下表のとおりである。

(2025年3月31日現在)

	テナント名	階	坪
1	公益社団法人 長寿社会文化協会	1階	43.35
2	特定非営利活動法人 全国女性会館協議会	1階	5.73
3	公益財団法人 さわやか福祉財団	7階	118.45
		合計	167.53

5階の「スペース We learn カンファレンスルーム」は、OWL会員、キャリア支援デザイナー、女性関連団体等に対して提供することで、その活動を支援している。

2024年度の利用件数は、OWL会員25件、賛助会員2件、財団関係者7件、女性関連団体3件、合計37件の利用があった。

(3) シェアオフィス・バーチャルオフィス運営「オフィス We learn」

趣旨：女性が起業するにあたって、活動拠点となるオフィスの確保が障壁の一つとなっており、女性専用シェアオフィス・バーチャルオフィスを設置することで女

性の自立を支援する。「キャリア人財プラットフォーム」事業の一環として日本女子会館 5 階の一室を管理運営している

対象：起業を目指す女性、都心に事務所を必要としている女性起業家等、働く女性及び女性が代表を務める法人

会員種別：正会員、法人会員、デイリー会員、イブニング会員、バーチャル会員

定員：50 人(団体)

会員数：36 件(2025 年 3 月 31 日現在)

法人会員；6 団体、デイリー会員；26 名、イブニング会員；1 名

バーチャル会員；3 名

(デイリー会員 26 名の内 4 名はキャリア支援デザイナー)

*施設内に 2 室ある個室の使用許諾契約は継続

Ⅱ．収益事業

2024 年度の収益事業会計の経常収益は 125,339,250 円、経常費用は 56,456,464 円で、収益事業単体の収支は 68,882,786 円となり、6 階に空室が生じたことにより、前年度より 4,691,823 円減益となる。

公益事業等を含めた全会計の経常収益は 161,576,119 円、経常費用は 144,757,972 円で、税引前当期一般正味財産増減額は 16,818,147 円となり、前年度と比較すると 2,655,999 円の増益となる。

法人税は、大規模改修工事の際に生じた税務上の繰越欠損金があるため、均等割の 70,000 円のみで、その結果、当年度の一般正味財産増減額は 16,748,147 円となった。

なお、経常費用総額のうち公益目的事業会計の占める割合は 55.63%で、50%を超えているため公益財団法人としての基準を満たしている。

1．日本女子会館建物の賃貸事業

(1) 入退居テナント状況

日本女子会館貸室は、2023 年 2 月 1 日以降満室を維持していたが、2024 年 9 月 30 日付で 1 階「事務室 5」5.14 坪が退去となったが、翌日から NPO 法人「国連ウィメン日本協会」理事長の橋本ヒロ子さんが入居。

2025 年 1 月 3 日付で、6 階テナント(2 室)の退去あり、そのうちの 1 室(51 坪)を分割し約 25 坪の貸室 2 室に変更して募集を行ったところ、1 室は 2025 年 2 月 1 日付入居、もう 1 室も 2025 年 4 月 1 日より入居済。

現時点では旧「オフィス We learn」の跡の 1 室(45 坪)が空室となっているが、現在入居申込を受理しており、契約条件等の調整を行っている。

既存テナントに対しては、日常的なコミュニケーションを維持して、テナントの要望等の情報を収集し、建物の維持や賃貸事業に活かしていく。

(2) 契約更新・再契約状況

既存テナントの定期建物賃貸借契約は、同条件による再契約の締結を進めており、3 月末日現在、解約予告等の動きはない。

2. 日本女子会館の維持経営

(1) 日本女子会館建物の維持管理

大規模改修工事後も日常的に建物・設備の老朽化に伴う細かな不具合等が発生し、適宜修繕工事を実施した。引き続き日々の各所点検を励行し、優先順位を見極めて対応することを徹底している。

2024年度の主な修繕工事として、1階貸室内天井点検口新設、地階冷凍冷蔵室扉ヒンジ更新、各所非常照明器具更新、6階空調室内機電磁コイル更新、非常用放送盤バッテリー更新、各所避難誘導灯更新、各所煙感知器更新、地階厨房上下水道配管更新、セキュリティ制御回路変更、地階ガス漏れ感知器更新、各階共用部照明器具LED化、等を実施し、4,350,000円支出している。

Ⅲ. 管理部門

1. 賛助会員

2024年度末における会員状況は、以下のとおり。

個人会員数：41名（54口） 法人会員数：2団体（2口）

2. 理事会

開催日/場所	議題・報告事項	審議結果
2024年5月20日 日本女子会館5階 会議室 ハイブリッド開催	議題 (1) 2023年度事業報告(案)について (2) 2023年度収支決算書(案)について (3) 2024年度定時評議員会開催日時及び議案について (4) 任期満了に伴う理事候補者名簿を定時評議員会に提案することについて 報告事項 (1) 理事長、常務理事の職務の執行の状況について	承認 承認 承認 承認 了承
2024年6月11日 決議の省略 (監事の異議なし)	業務執行理事より提案 (1) 代表理事(理事等)を野村浩子とする	全員同意
2024年10月30日 日本女子会館5階 会議室 ハイブリッド開催	議題 (1) 2024年度上半期事業計画の進捗状況について 報告事項 (1) 理事長、常務理事の職務の執行の状況について	承認 了承

2025 年 3 月 25 日 日本女子会館 5 階 会議室 ハイブリッド開催	議題 (1) 2025 年度 事業計画(案)について (2) 2025 年度 収支予算(案)について	承認 承認
	報告事項 (1) 2024 年度 下半期事業計画の進捗状況について (2) 理事長、常務理事の職務の執行の状況について	了承 了承

3. 評議員会

開催日/場所	議 題	審議結果
2024 年 6 月 11 日 日本女子会館 5 階 会議室 ハイブリッド開催	議題 (1) 2023 年度 事業報告書(案)の承認について (2) 2023 年度 収支決算書(案)の承認について (3) 任期満了につき理事の改選について	承認 承認 承認
	報告事項 (1) 2024 年度 事業計画について (2) 2024 年度 収支予算書について	了承 了承

事業報告の附属明細書

2024 年度事業報告には、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、定款第 11 条(2)に規定する事業報告の附属明細書は作成しない。